

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第7回 宍粟市健康づくり推進協議会	
開催日時	平成30年10月26日（金）午後2時00分～	
開催場所	宍粟市役所 本庁 3階 庁議室	
議長（委員長・会長）氏 名	金谷 会長	
委員氏 名	（出席者） 伊達副会長、下川委員、下村委員、千原委員、中谷委員、中村委員、藤原委員、山下委員、山本美奈委員	（欠席者） 岡田委員 小林委員 牧野委員 村下委員 山本美紀委員
事務局氏 名	世良部長、平尾課長、島澤副課長、岸根成係長、岸根翠係長	
傍聴人数	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開	（非公開の理由）
決定事項	<p>（議題及び決定事項）</p> <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>（1）健康しろう21（第3次）及び第2次宍粟市食育推進計画（案）について</p> <p>（2）その他</p> <p>4. 閉会</p>	
会議経過	別紙のとおり	
議事録の確認（記名押印）	<p>（委員長等）</p> <p>_____ ㊟</p>	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>皆さんこんにちは。ご案内しておりました時刻になりましたので、平成30年度第7回宍粟市健康づくり推進協議会を開催します。</p> <p>委員各位におかれましては、大変お忙しい中、本会議にご出席いただきましてありがとうございます。今回の会議で、案がほぼ確定できると思いますのでよろしく願いいたします。本日、会議の進行をさせていただきます保健福祉課課長の平尾と申します。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>2. あいさつ</p> <p>開会に先立ちまして、保健福祉部の世良部長から挨拶をお願いいたします。</p>
事務局	<p>こんにちは。お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。朝夕の冷え込みが厳しくなってきました、北部では紅葉が見頃となっております。そろそろ風邪もひく季節でマスクをしている方もみかけます。</p> <p>お昼にネットのニュースをみて衝撃を受けたのですが、海洋プラスチックが問題となっております。ウィーンの機関が世界8か国のヒトの便の調査をすると、すべての国のヒトの便で20個のプラスチックが発見されたということです。大きさは0.5ミリということですからかなり大きいです。人体の健康にどう影響するかはこれから調べなくてはいけないそうですが、他人事ではないなと感じます。これらのプラスチックはレジ袋やペットボトル由来になるもので、自分たちが使って排出したものが、自分の健康に跳ね返ってくるという時期にきているのかなと思います。</p> <p>そういったものもみつつ本日の会議に臨んだわけですが、今回皆様にお世話になっているこの計画は、市民の健康と食という生活の根本に関わってくる非常に大切な計画です。本日もご議論いただいたあと、市民のパブリックコメントにかけさせていただきます。色んなご意見を聞かせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、健康づくり推進協議会、金谷会長様お願いします。</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。前回まで色々ご議論いただき、計画の方向性などまとめていただいています。健康づくり推進協議会も残すところ、本日を含めて残り3回となっております。本日も、より良い計画となるよう委員の方からのご意見をよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。会議に入る前に本日の欠席等について報告いたします。本日、所用により5名の方が欠席されています。健康づくり推進協議会条例の第6条第2項で、委員の半数以上の出席でこの会が成立することになっておりますので、本会議は成立したことをご報告します。</p> <p>続いて、資料の確認をさせていただきます。次第、名簿、意見書と、先に郵送にてお配りしております「健康しそう21（第3次）および第2次食育推進計</p>

<p>会長</p>	<p>画（素案）」、自殺対策計画素案となっております。 ここからは、条例第5条第3項により、会長に会議の進行をお願いいたします。</p> <p>3. 議事 （1）健康しそう21（第3次）及び第2次宍粟市食育推進計画（案）について</p> <p>それでは議事（1）健康しそう21（第3次）及び第2次宍粟市食育推進計画（案）について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回までに健康づくり推進協議会でいただきましたご意見については計画に反映させていただきました。その後、10月3日（水）に食育関係課が集まる庁内プロジェクト会議におきまして最終の確認と意見をいただき、担当課からの意見も反映させていただいております。本日は全体的に意見が反映されているかということ、また、新たにライフステージごとの取り組みとして、お配りしています素案の83ページ以降を追加しておりますので、ご意見を賜りたいと思います。</p> <p>今までにいただいたご意見を反映させていただいた内容につきましては、支援業者のジャパン総研様に説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、ジャパン総研様よろしく申し上げます。</p>
<p>ジャパン総研</p>	<p>第4回の健康推進協議会から3回にわたりまして、グループワークで皆様からご意見をいただきましてありがとうございます。いただいたご意見について修正を行いまして、全体の計画書の案として出させていただきます。</p> <p>本日は一旦、修正させていただいた点について各章ごとに説明させていただきます。ご意見、議論等いただきたいと思いますのでよろしくごお願いいたします。それでは第1章から説明させていただきます。</p> <p>第1章「計画の策定にあたって」の修正箇所等について：ジャパン総研より説明</p>
<p>委員</p>	<p>16歳以上のアンケート調査の有効回収率は配布数の半分弱ですが、回収率やデータの信頼性等についてはどのようにとらえたら良いでしょうか。</p>
<p>ジャパン総研</p>	<p>健康関係のアンケート調査では30%程度のところもあれば、宍粟市様のように40%以上といった数値もあるのですが、この数値については高い方だと思います。ほぼ3割しか帰ってきていない自治体様もある中では5割弱という数値はよく回収できているという数値ではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>現状の把握として、ランダムに選んだ中ということでは理解できるのですが、アンケートに答えてくださる方は意識の高い方かなとも思います。そういったところについて注記を入れておく必要はないでしょうか。もう少し前に気づけていたら良かったのですが、前回の状況との比較をするとどうなのでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回のアンケートは基本的に食育に関する部分だけであったので、その部分に</p>

	<p>については前回の回収率等もふまえて、1,000 余りは回答が欲しいということで逆算して 2,300 人を抽出しています。小中学生と4, 5 歳児は手渡しなので100%に近い回答が返ってくるだろうということも予測の上です。また、郵送配布の回収率も、ある程度考慮した上での調査となっております。</p> <p>回答して下さるのは関心の高い方というような、その部分で偏るところは否めないとは思いますが。</p>
委員	<p>特定健診などのデータも使われていますが、5年後の変化をみると同じようなズレなのかなとは思いますが。</p>
事務局	<p>44%というのが高いのか低いのかということや、データの信頼性等についての記載については検討させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>前回と回収率が同じ程度なので、推移がみられるといったような記載があればと思います。</p>
事務局	<p>確かにこの部分だけをみると小中学生や幼児の調査と比べて回収率が極端に低いようにはみえてしまいますので、わかりやすくなるような説明ができないか検討させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>様々な計画で調査を行いますが、対象者数は大体2,000人から2,500人ぐらいです。昨年も高齢者福祉計画や障害福祉計画を策定しましたが、その際の回収率は50%弱でした。今回の計画の有効回収率をみると、この数値が特異な形態を示しているということではないので、この回収率は有効と判断しています。</p>
委員	<p>前回と比べてどうなのかなとは思いますが。</p>
事務局	<p>確認はさせていただきますが、この間に宍粟市でアンケートをとっている中で大きく数値が振れることはありません。</p>
事務局	<p>元号の表記については今の時点でわかっていけば入れられるのですが、悩ましいところではありますが、元号が変わることが分かっていますので。</p>
委員	<p>これからつくるものなので仕方がないと思います。昔作成された人口の推移などは平成表記でも良いですが、この計画はこれからのものですので西暦のみの表記でも良いかと思います。</p>
事務局	<p>若い方は西暦で生年月日を表記される方も増えております。</p>
ジャパン総研	<p>続きまして第2章の説明に移らせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">第2章「宍粟市を取り巻く現状」の修正箇所等について：ジャパン総研より説明</p>

委員	25 ページの表で「健康寿命の増加」という評価指標に対して、目標値の項目に記載されているのが「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」とありまして、平成 24 年度の数値と平成 29 年度の数値が記載されて評価がありますが、これだと基準が分かり難いのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。前の部分を読めばわかるのでしょうか。
ジャパン総研	平均寿命の増減につきましては 11 ページにグラフを掲載しておりますが、どこからどのように数値が変わってきたかということがこの部分のみではわかりにくいかもしれませんので、平均寿命がどのように変化したかを注釈か何かでページの下の方に加えさせていただく形にしたいと思います。
委員	11 ページに戻ると平均寿命の変化もわかりますが、同じページにあるとわかりやすいように思いますね。
ジャパン総研	ありがとうございます。他にご質問やご指摘等ございませんでしょうか。
委員	27 ページの表の肥満の割合や、やせの割合について町ぐるみ健診からとなっておりますが、この部分だけ町ぐるみ健診のデータとなっているのは何故でしょうか。
ジャパン総研	前回設定していた目標指標の根拠が町ぐるみ健診からとってきているものでしたので、同じ根拠で比較ができるようにそこからデータをとらせていただいております。
委員	この部分だけ町ぐるみ健診になっているので少し目立つかと思います。こういった指標については特定健診などからとるものかなと思うのですが、今後も町ぐるみ健診のデータをとっていくということになるでしょうか。データの根拠がかわることで支障があれば別かもしれませんが。
事務局	あちらこちらからのデータとなると煩雑かもしれませんので少し検討させていただきます。特定健診で結果が出ないものについては代替できるものを使わせていただく事も必要かもしれませんが、特定健診でデータがあるものはそれで統一させていただいたほうがわかりやすいかもしれませんね。
委員	次回また違う方向になるよりはここで処理するのであればそのままでいいかもしれません。
事務局	わかりました。ありがとうございます。
ジャパン総研	他はよろしいでしょうか。それでは第 3 章の説明に移らせていただきます。 第 3 章「計画の基本的な考え方」の修正箇所等について：ジャパン総研より説明

委員	32 ページの重点施策2「動いてリフレッシュ 運動して伸ばそう健康寿命」という部分ですが、「リフレッシュ」をどのような意味で書かれているのかということが少し伝わりにくいかなと感じます。
事務局	「動いてリフレッシュ 運動して伸ばそう健康寿命」の部分については、グループワークの話し合いの中で、運動の効果として運動した後の気持ちよさをメリットとして入れたらどうか、というご意見をいただいたので、運動すると気持ちがいいという意味合いでこの文言を入れさせていただいています。
委員	リフレッシュという単語は一般的に使われるものでしょうか。リフレッシュ休暇とか、「リフレッシュしよう」という日常会話で使われることは想像できますが、この重点施策ですとかそういった場面で、広く住民の方々にみていただく文言での印象としては少し不思議に思いました。 それから重点施策4の説明文、上から4行目で「行動に移してもらえよう」と書かれている部分が気になります。「行動に移せるよう」という表現のほうがよいのではないのでしょうか。
ジャパン総研	「市民一人ひとりが」という主語ですので「市民一人ひとりが…行動に移せるよう」というほうが文章として正しいかと思えますので、「移せるよう」に修正させていただきたいと思えます。
事務局	「リフレッシュ」という単語はつい使ってしまう表現ではあります。
委員	よく使われている表現ならよいかと思えますが。
事務局	ただ、市民の皆様によくニュアンスが伝わるかどうかというところは悩ましいところです。
委員	「動いて」という言葉について、何が動くのかということが分かりにくいかなと思いました。体を動かしてリフレッシュといえはわかるかなとは思いますが、事務局さんで検討して決めていただければと思います。
事務局	「リフレッシュ」を活かすのであれば、今ご指摘いただいたように、「動いて」が何を動かすことなのかということがわかりにくいということもあるかと思えます。 基本として、運動をしている人の割合が少ないことについてウォーキングなどで少しでも体を動かしてもらおうということを重点として挙げているところですので、それがわかる形であることと、また、先程説明させていただいたこととして心身の気分転換だとか、代謝もあげたいということが盛り込めるような表現にしたいと思えます。 言葉をコンパクトにまとめるときには頭を悩ませるところですが、つくっている側は内容をわかっている、網羅できていると思ってしまうので、その点を考慮していきたいと思えます。

<p>ジャパン総研</p>	<p>よろしいでしょうか。続きまして第4章に移らせていただきます。</p> <p>第4章「健康しそう21（第3次）」の修正箇所等について：ジャパン総研より説明</p>
<p>委員</p>	<p>41ページの「朝食をほとんど毎日食べている人の割合の増加」という指標について、高校生男女の現状値が72.6%となっていて、20歳代男女の50～60%という現状値よりは上の割合であるのに、目標値が20歳代男女と同じ80%というのは低いのではないかなと思います。高校生男女は90%ぐらいでもいいのではないかなとも思うのですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>最初は100%にしていたのですがなかなか達成せず、次第に下がっている状況です。高校生の中に入っていく機会も少ないので、もっと低い年齢から達成率が上がれば後の年代も上がっていくのでは、という考え方で設定しています。</p>
<p>委員</p>	<p>目標値が100%のことなどありえないなとは思いますが、理念目標だからといって100%にしても、それは絶対に到達しないだろうと思います。色々な考え方もありますし、どうしても数%の人は全く違うことを考えておられると思うので、特に20歳代の若い人は難しいのはわかるのですが、高校生の目標値が80%というのは少し低いかなと感じます。</p> <p>確かに、中学生と比べて高校生は朝食を食べる人が少ないかとは思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>義務教育までですと連携がとれたり、学校の栄養士さんからの働きかけがあったりと、少しでも目標に近づくよう関わりをもっていけますが、高校生となるとその部分が難しいという、後ろ向きの姿勢での目標値になってしまっているかと思います。どちらかと言えば大人と同じ枠でくくってしまっています。</p> <p>難しいところではありますが、宍粟市は高校が3校あります。生活創造科があって食などを含む学科や、給食がある高校もありますので、切り口を考えながら、高校生の中に入っていき方法を模索しつつ、目標値を上げたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>現状値の資料のアンケートが「ひょうごティーンズキッチンアンケート」となっていますが、これは市内の高校生のデータなのですよ。</p>
<p>事務局</p>	<p>高校生全員へのアンケートではありません。アンケート調査を依頼してもなかなかとらせていただけませんでした。最初は全学年にお願いしたのですが、その次からは回答をいただいた生徒さんだけとか、選択教科でそれを学びたいという学生さんだけの調査で、60人程度のアンケート結果でしたので、結果も興味がある子どもさんの数になります。</p> <p>朝食は食べているという回答もありましたが、よくみると中身が伴わない結果でもあったので、食べることも大事ですが、その内容もきちんと伝えていかないといけないなとも思います。目標に達成できる数値をあげるとすると80%が妥当かと思います。60人程の回答の結果からなので、現状値が70%を超えているといっても、80%ぐらいがいいのではということで設定しています。</p>

委員	学校でやりやすいといっても難しいですね。
委員	<p>今の高校生の食に関する話について、参加したことはないのですが、宍粟市の高校の生徒さんが色々な食べ物をつくって地域で販売したり、食堂経営のような形をしたりしていて、食に関して啓発していただくチャンスはあると思うので、そこに期待したい思いがあります。</p> <p>割合を設定するのは難しくてこのようにして下さっていると思いますが、啓発していただくチャンスはつくっていただいているかなど、推進することはできるかなどは思います。数値については非常に難しいところではあると思いますが、啓発の場はいくらかあると思うのでそれに期待したいと思います。</p>
事務局	中間評価を5年後にさせていただくときに、またアンケートも実施させていただきたいと思いきし、限りなくこの80%に近づくようでしたら、その時点で目標値を上げるという修正はさせていただきたいと思いきし。最初が高すぎると難しいかなどは思います。
ジャパン総研	<p>ありがとうございます。他にご質問等ございませんか。ないようですので一旦区切らせていただきまして、第5章の説明に移らせていただきます。</p> <p>第5章「第2次宍粟市食育推進計画」の修正箇所等について：ジャパン総研より説明</p>
委員	67ページのコラムの中にあるイラストですが、これは出典にある「食育ガイド」からとられているものでしょうか。
ジャパン総研	こちらは当社のイラストになっております。
委員	ご飯が山盛りなのと、お膳の配置が違うのが気になります。
ジャパン総研	<p>おっしゃる通りだと思いますので、イラストは修正したものに差替えさせていただきたいと思いきし。</p> <p>他にご意見等ございませんか。では第6章に移らせていただきます。</p> <p>第6章「ライフステージごとの取り組み」の追加について：ジャパン総研より説明</p> <p>(質問等なし)</p>
ジャパン総研	<p>また今後内容をみていただく中で何かございましたらお願いいたします。続きまして第7章、資料編の説明に移らせていただきます。</p> <p>第7章「計画の推進体制」及び資料編について：ジャパン総研より説明</p> <p>(質問等なし)</p>

	<p>ご意見ご質問等よろしいでしょうか。また資料をお持ち帰りいただいてから気づいた点などありましたら、本日より1週間程ご意見を受け付けさせていただきます。反映させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で健康計画と食育計画の説明とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。委員の皆様にも、本日の会議ではこれまで気づいていなかった点をご指摘いただきましてありがとうございました。また今回の意見につきましても計画に反映するようにお願いいたします。</p> <p>では議事の(2)その他について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) その他</p> <p>3点説明させていただきます。1点目は今後のスケジュールについてです。先程ご覧いただいた資料の94ページに策定経過がございます。本日10月26日に第7回宍粟市健康づくり推進協議会を開催しておりますが、今回のご意見等を反映させていただき、市民の意見も募集したいと思っておりますので、11月22日(木)から12月21日(金)までパブリックコメントを実施したいと思っております。資料等の閲覧場所につきましては担当課の窓口、各市民局のまちづくり推進課、三方町出張所、市立図書館と、市のホームページに掲載しまして意見を募集したいと思っております。</p> <p>提案いただいた意見につきましては事務局で集約させていただき、次回、平成31年1月11日(金)の第8回健康づくり推進協議会で協議させていただきたいと思っております。その最終として平成31年1月25日に今回の計画につきましても協議会会長より市長へ答申するという形になっております。</p> <p>2点目として本日の協議会の会議録についてですが、事務局で10日以内に会議録を作成して、各委員さんに郵送させていただきます。委員さんは本日発言された内容を中心に5日以内に確認していただき、もし修正が必要な場合は事務局へご連絡をお願いいたします。修正した会議録は会長さんに確認していただき、最終確認の後に各委員さんへ送らせていただきまして、市のホームページにも掲載させていただきたいと考えております。</p> <p>3点目は現在策定しております宍粟市自殺対策計画について、担当の岸根から説明させていただきたいと思っております。</p>
<p>事務局</p>	<p>少しだけ説明させていただきます。資料としまして宍粟市自殺対策計画素案というものをお配りさせていただいております。</p> <p>国で自殺対策基本法が平成28年の4月に改正されたことから、市町村での自殺対策計画の策定が義務付けられております。社会的にも、自殺は個人の問題ではなく社会的な問題であるという考え方になっていることから、宍粟市でも自殺対策推進本部を設置しまして、庁内でも横断的な取り組みを進める中で、自殺対策計画を策定していくこととしております。本部会議等々を経て進めさせていただいている構想案の途中の段階でございます。</p> <p>2ページの計画策定の体制図をご覧ください。先程申し上げた本部会議や、調</p>

<p>会長</p>	<p>整会議において策定している計画となっております。また、関係機関に自殺対策連絡協議会というものを持っておりますので、そちらでもご協議やご意見、ご助言をいただいているところです。また、市民の皆様や団体の皆様が入っていただいているこの健康づくり推進協議会でも、少しこの計画をみて、ご意見、ご助言いただく機会をいただけたらと思います。</p> <p>当初、心の健康づくりのところに自殺対策を入れるべきではというご意見もいただいて検討しましたが、自殺は心の問題という認識ではなく社会の問題であるという、健康づくりの枠を出た考え方になってきましたので、健康づくりの分野だけではまとめきれないボリュームとなっております。そういったところも踏まえて計画をみていただけたらと思います。庁内でも横断的に色々な部署を巻き込んだ計画策定となっております。ボリュームも多いのですが、みていただいた中でご意見、ご助言をいただけたらと思います。</p> <p>お知りおきいただきたいところとしまして、宍粟市の自殺の現状を説明させていただきます。</p> <p>健康づくり推進協議会でも自殺率が高いことをお伝えしてきたと思いますが、宍粟市の自殺・死亡の状況は高い状況が続いております。8ページに死亡者数の数値としてここ10年間の分が載っております。宍粟市におきましては自殺でお亡くなりになる方が28年では12人、ここ3年間の平均では11人となっております。</p> <p>これが多いのか少ないのかということについては、その下に表で兵庫県近隣市町の自殺死亡率を載せております。人口10万人単位にした時の死亡率が出ておりますが、28.1%ということで非常に高い数値となっております。兵庫県下でも25年、26年、28年の数値をみるとワースト1位となっております。</p> <p>どういった方が亡くなるのかということもその後のページに少し載せておりますが、男性が多いということと、60歳以上の方が多くなっております。13ページには宍粟市の主な自殺の特徴というのがありまして、最も多いのが男性60歳以上無職同居、次に男性60歳以上無職独居と続いております。</p> <p>そういった現状をみながら計画を立てております。</p> <p>健康づくりの計画で実施したアンケートでは、16ページにある心の健康づくりという分野について、自殺対策とか自殺の意識についての調査も実施させていただきました。結果をみますと、例えば、自殺は個人の問題であり自由だという設問に対して、そう思うと回答した方の割合が高くなっております。また、自殺は防ぐことができるものであるという回答の割合は低くなっていて、意識の部分も重要かと思えます。</p> <p>これらの現状も踏まえた取り組みとしまして、20ページから7個の施策を記載しております。中身については主に庁内で実施している事業となっておりますが、本日、色々な団体の方にもきていただいておりますので、また案やご助言等をいただけたらと思います。後日で構いませんのでよろしくお願いいたします。以上となります。</p> <p>それでは議事は以上で終わらせていただきます。長時間お疲れ様でした。閉会について事務局にお願いします。</p> <p>3. 閉会</p>
-----------	--

事務局	<p>長時間にわたりましてご意見等いただきましてありがとうございます。 本日いただいた意見や、このあと1週間の間にお気付きの点があればご連絡いただいて、それらを反映した形でパブリックコメントの原案ということでまとめさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 最後に副会長から挨拶をよろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>今回の資料をみますと、まず健康面では歯の問題が大きいということで詳しく載せていただいております。もう1つの資料を拝見して自殺もとても大きな問題だなということがわかりました。 これについては色々な問題もあり、なかなか本当の原因をつかむことは大変だと思うのですが、このグループでもお役に立てるような意見があれば、1週間程の期間でお知らせいただけたらと思います。 夏の暑さも逃れて気持ちのいい気候になってまいりましたが、風邪も流行ってきていますので皆様気をつけてお過ごしください。 本日はありがとうございました。</p>

* 発言者の表記は、「会長」、「副会長」、「委員」、「事務局」、「ジャパン総研」とする。